

しごとサポート!

第37号



※障害のある方が安心して働き続けることができるよう、仕事に関する相談や支援を行っている文京区の支援機関です。

企業座談会～障害者と共に働くということ～

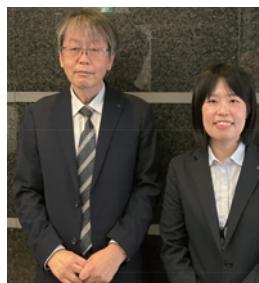
Part1 強みを生かした雇用

2026年7月には法定雇用率が現在の2.5%から2.7%への上昇が見込まれるなど、今後も障害者雇用を取り巻く環境は変化していくと考えられます。これまで以上に多くの企業が障害者雇用に携わることが予想される中で、今年度のしごとサポートは、障害者雇用のノウハウを知って頂くことを目的に、日頃から障害者雇用に精力的に関わられている3社4名の方をお招きし、座談会を開催いたしました。

障害者雇用は決して敷居の高いものでも特別なものでもなく、一緒に働く仲間として、自然にお互いを知りながら、受け入れの体制が作られていく過程をお伝えできればと思います。知識も経験も0から障害者雇用に関わり、働く人として多くの気づきを得られたという語りからは、私達にも同様に多くの気づきを与えてくれると思います。企業目線で語られる現場のリアルな声から、戦力として働く姿を読み取っていただき、障害者雇用を推進する一助となれば幸いです。

本号より、「強みを生かした雇用(37号)」、「長く働いていくために必要なこと(38号)」、「一緒に働く工夫(39号)」と3つのテーマに渡り、連載致します。

登壇者 ご紹介



相澤 輝雄氏 / 柳 優香氏 (高木工業株式会社 障害者雇用推進グループ)

相澤氏: 2009年より社内の障害者雇用の推進に取り組み、採用から社内の体制整備、定着支援までを行う。また、支援者を対象とした研修会に講師としても登壇するなど、業界全体の支援力向上にも取り組んでいる。

柳氏: 就労継続支援B型事業所にて10年間就労支援に従事したのち、2023年より高木工業株式会社へ入社。B型事業所での経験を活かし、社内の定着支援や採用、実習の実施に取り組んでいる。



金川 博充氏 (渡辺パイプ株式会社 人事ユニット 採用・研修グループ)

2008年より渡辺パイプ株式会社に入社。8年ほど広報の仕事に従事したのち、現在は採用担当として渡辺パイプグループ全体のキャリア採用など採用全般を行っており、障害者雇用の推進にも積極的に取り組んでいる。



松田 真宏氏 (株式会社Tomorrow Step 代表取締役社長)

2006年よりパソナグループの特例子会社パソナハートフルにて19年間、社内の障害者雇用の推進に取り組むほか、企業内サポーターの養成や各地での講演など、企業の障害者雇用推進のためのコンサルティングを行う。昨年2024年に退職し、現在は埼玉県深谷市で農業を実地訓練を行うことのできる就労移行支援事業所の立ち上げを進めている。

◆当事者との関わりとエピソード

一まず初めに、それぞれが関わってきた障害者雇用のイメージを読者の皆様へお伝えするため、皆さんにとってこれまで印象深かったエピソードや、日頃、当事者の方と関わる中で意識していることを伺いました。

金川氏 当社ではできるだけ多くの実習を受け入れるよう考えております。なかなか障害者雇用に触れることが少ない現場社員に実際に接してもらい、程よい距離感を模索していただくための良い機会とさせていただいております。採用については中途採用や障害者採用、派遣採用を分けずに考えています。弊社の募集は倉庫業務や工場、農場です。ベテランの人は倉庫を一人で全部仕切ってやっている人もいます。新卒入社や中途入社の人は、初めは倉庫業務をやっていても、次のステップで営業に行ってしまう人が多い一方で、障害者採用で入った人は長年倉庫で働いてくれるので、現場としては、ずっと見てくれる人がいるとありがたく、とても助かっていますね。

一本本当に戦力になってくれますね。倉庫のことがわかる専門家として活躍してくれるのですね。

松田氏 私は「その方の良いところを見る」を座右にしています。しかしある就労のためのOJT研修参加者の中に発達障害のAさん（以下、Aさん）がいて、思い込んだらすぐ行動してしまうタイプで、一度自分の手には負えないとギブアップをしました。しかし障害者向けイベントに弊社が出店することになり、そこにAさんを連れていきました。会場では他社はメイク体験や食べ物の試食などで賑わっていましたが、当社はパンフレットを置いてあるだけで、閑散としておりました。そこで集客のために皆でチラシ配りをしたのですがなんとAさんは歩いているお客様だけでなく、他社に順番待ちしているお客様やその社員にも「うちにも来て下さい」とチラシを配ってくれました。

その一生懸命な姿にお客様も社員も笑いながら「後で必ず行くね」と受け取ってくれました。実際には座右ができるから「まだまだ修行が足りない」と感じさせられました。でも実はAさんとは未だに付き合いがあり、会いに行くとハグをしてくれる仲です。（笑）

一ピュアで一生懸命さがよく出ていますよね。

松田氏 はい、すごくいい勉強になりました。

相澤氏 当社では、18年働いている社員で「どんな仕事が好きですか？」って聞くと、「トイレ掃除」と答え、トイレ掃除ができるれば幸せだと言ってくれる人がいます。

柳氏 トイレは変わらずそこにあるっていう安心感があるのかもしれないですね。そこに行けばそれをやればいいと決まっているので。

一会社がある種の「居場所」となることで長く安定した就労に繋がっていると柳氏は言います。相澤氏からは、「貴重な財産だと思っています」と語ってくれました。

本号では登壇者からの障害のある社員との関わりや体験談について掲載しました。“変わらない”ことを「退屈」と捉える人もいれば、相澤氏のエピソードにあるように「安心」と捉える人もいます。会社の戦力として能力を発揮出来るような環境を作るためには、その社員の立場で見方や捉え方を理解することが非常に大切だと思いました。そのためには多方から見守ることが「どのように考え、感じているのか」の理解となり、モチベーションに繋がり、「強みを活かした職場環境を整えるのに、重要なことである」と感じました。

次号では「長く働くために必要なこと」について掲載致します。ご期待下さい。

（書き手：文京区障害者就労支援センター 鶴田慎）

EVENT x NEWS

講演会のお知らせ

「雇用準備性」確立へのスキーム構築 ～雇用率0.0%からの達成への道のり～

登壇者：株式会社ドム 法務部 次長 飯岡 淳氏

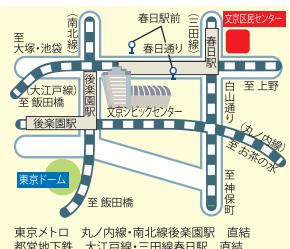
日時：令和8年1月23日 14:00~16:00 (13:30開場)

場所：文京シビックセンター3階

障害者会館 会議室 A・B

参加費：無料

申し込み方法：[専用フォームでのお申込み](#)
右記QRコードからお申込みください。



就労支援のお問い合わせ

TEL 03-5805-1600 FAX 03-5805-1601

E-mail : daihyo@bunkyo-shuroushien.jp

文京区障害者就労支援センター通信「しごとサポート」 第37号（令和7年12月10日発行）

発行：文京区障害者就労支援センター

毎回、障害のある人の「働く」を発信していきます。次号もご期待ください。